Episode 06

医療法人マキノ病院

看護部　主任看護師

井上 照恵さん

小学生の頃には看護師になりたいと思っていた。今、娘が看護師になりたいと言うのがうれしい

子どもの頃の看護師との出会いから

看護師はいつ頃からめざしていたのですか？

京都で育った子どもの頃、母が看護助手として病院に勤めていたこともあり、看護師は身近な存在でした。小学校２年生のとき、祖父が心臓の病気で入院しました。看護師さんは患者である祖父だけでなく、家族の私たちにも優しい言葉をかけてくれていたのが印象に残っています。そんな出会いもあり、小学生の頃には看護師になりたいと思っていました。

高校卒業後の進路を教えてください。

京都府内の看護学校へ進学しました。看護実習は大変でしたね。朝から夜まで続く実習は、“記録”がメインです。治療や処置、患者さんの経過など、記録することは非常に多く、重要な業務です。一つ一つに的確で厳しい指導があり、するべきことと記録に追われていました。実習中、脳外科で入院されていた患者さんとの出会いは強く印象に残っています。担当した初めの頃、全く反応がなかった患者さんが、車椅子で一緒に散歩へ出たり、手や足を洗ってあげたりしているうちに、反応を示され、表情も出るようになっていかれました。患者さんの回復を目の当たりにし、大きなやりがいを感じたのを覚えています。

マキノ病院へ就職されたのは、なぜですか？

実は、1993年頃に両親が今津に別荘を建て、時々、家族で遊びに来ていたのですが、私の看護学校卒業を機に両親がその別荘に移住しました。私も今津で一緒に住み始め、市内で看護職を探し始めました。マキノ病院は、受付や外来患者さんとの雰囲気が良く、スタッフも活き活きとされている印象を受け、就職を決めました。

元気に退院される患者さんの姿にやりがいを感じて

お仕事について教えてください。

配属は、発症直後などの急性期の患者さんが多い東病棟です。マキノ病院には急性期の患者さんが入院されている東病棟と慢性期の患者さんが入院されている西病棟があります。一つの病棟には、１チーム３～４人の看護師で構成される２チームがあり、１チームが約30人の患者さんを担当しています。勤め始めて今年で17年になり、主任として東病棟のリーダー業務をしています。２チーム全ての患者さんの状態を把握し、医師やリハビリテーション科などに伝え、連携する役割を担っています。休みの後は、病棟内の変化を把握するのがたいへんですね。

どんなときにやりがいを感じますか？

高齢の患者さんが多いので、退院後のご家庭の受入態勢についてケアマネジャーと相談し、訪問看護の調整などを行い、患者さんが安心して退院できるよう心がけています。元気に退院される患者さんの姿を見るときは、よかったとやりがいを感じます。一方、終末期の患者さんに接する時は、痛みや不安にどのように向きあうべきか葛藤しますね。どれだけ経験を積んでも、絶対の正解はないと感じる時もあります。

4歳の娘が看護師になりたいと言うのがうれしい

今後の展望を教えてください。

長く働き続けたいと思っています。市内で夫と出会い、結婚して、今は新旭から通勤しています。４歳になる娘がいますが、保育園のお休みには今津に住む両親が子どもの面倒を見てくれるので助かっています。娘は救急車を見ると「ママが乗っている！」と言うそうで、「看護師になりたい」と言ってくれるのがうれしいですね。また、職場はみんな仲が良くて、楽しい雰囲気があるのもうれしいです。病院には託児所もあり、子どもができても働きやすい職場なのですが、結婚を機に看護師を辞めていく現実があり、いつも求人が出ている状態なのが課題ですね。

看護師をめざす若い人へメッセージをお願いします。

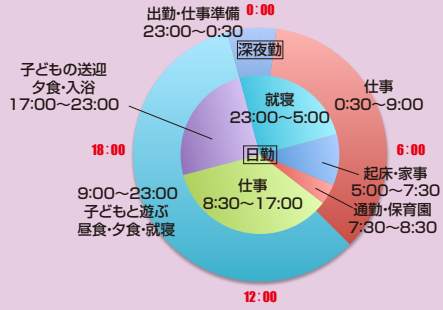
一般的に難しい仕事だと思われているようですが、人と関ることが好きな人であれば、やりがいのある仕事だと思います。幅広い年齢の方、様々な立場の方など、多様な人と出会う仕事でもあります。医療が日々進歩するのに合わせて、勉強し、スキルアップしていける技術職ですし、一生続けられる仕事だと思っています。

DATA

●プロフィール&高島らしさとは？

1976年、大阪市生まれ。2歳の頃に京都市へ。1998年、マキノ病院に就職。高島は自然が多く、人が親切なのが魅力だと感じます。両親が畑をしているとご近所の方が何かと教えてくれました。風車村など子どもが広々としたところで遊べるのもいいと思います。

●1日のタイムスケジュール



医療法人マキノ病院

〒520-1822　高島市マキノ町新保1097

TEL：0740-27-0099　FAX：0740-27-1840　HP：http://www.makino-hosp.or.jp/